

かわさきしがいこくじんしみんだいひょうしゃかいぎ  
川崎市外国人市民代表者会議  
(だい 1 4 期 だい 2 年 だい 3 かい だい 1 にち)  
ぎじろく  
議事録

1 日時 2023(令和5)年10月15日(日) 午後2時00分～5時00分

2 場所 中原市民館

3 出席者

(1) 代表者 15人

イトウ ユリカ キヤレン、ドウマヤス アリヤン、野田 ユワリー、  
ヒリストバ ガブリエラ、ペレーラ ラヒル サンケータ、マイ アサエル、  
ムハマド アイマン アリフ、楊 子宜、ユデク マルチン、尹 智夏、李  
歓歓、劉 英杰、劉 晨、林 芳安、レイバーマン ケビン

(2) 事務局

佐藤 課長、菅原 担当課長、三田村 課長補佐、堤 職員、五十嵐 職員、  
高橋 専門調査員

4 傍聴者 34人

5 会議次第(公開)

(1) 開会

(2) 事務局説明

(3) 議事

(4) 事務連絡

(5) 閉会

【全体会】

ペレーラ委員長「それでは、これから川崎市外国人市民代表者会議、2023年度第3回第1日を開催する。今日はグエンさん、ブリツィナさん、李 晨さんが欠席だ。それでは、今日の日程と配布資料の確認について、事務局から説明をお願いする。」

(事務局三田村課長補佐が説明)

ペレーラ委員長「次に、前回会議のまとめについて、事務局から説明をお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が資料1に基づき説明)

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。(なし) それでは、議事に入る。まずは、2023年度年次報告書についてだ。事務局から説明をお願いする。」

(事務局五十嵐職員が資料2に基づき説明)

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。(なし) では、案のとおり、事務局が原稿案を作成し、代表者が内容を確認するということによいか。賛成の人は手を挙げてください。(全員賛成) 次に、オープン会議についてだ。事務局から説明をお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が資料3に基づき説明)

ペレーラ委員長「続いて、実行委員会の報告を李 歆 歆 副委員長からお願いする。」

李 歆 歆 副委員長「今日は、役割分担と交流会の内容の2点について話し合った。まず、役割分担についてだが、司会、受付、交流会、会場補助のそれぞれに少なくとも1人以上は臨時会の実行委員が入るように調整した。(ホワイトボードに役割分担を整理) 次に、交流会の内容について2つのことを決めた。1つ目に、トークテーマについてはとくに設定せずに、参加者とのフリートークとする。2つ目に、11月の市民祭りで使う写真をホワイトボードに貼ることにした。」

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。(なし) では、まずは全体での役割分担を決めたい。その前に、この中でオープン会議に参加できないという人はいるか。(レイバーマン委員) では、司会は実行委員会からはユデクさんが候補に挙がっているが、ほかにやりたいという人はいるか。(林委員) ほかにいるか。(なし) では、司会はユデクさんと林さんに決定した。残りは、順番に希望を教えて欲しい。(順番に希望を挙げて調整) それでは、役割分担も決まったので、オープン会議についてはここまでとする。このあとは

部会審議だ。全体会の再開は16時35分でお願ひする。」

### 【安心生活部会】

ヒリストバ部会長「それでは、部会を始めたい。まずは、事務局から今日の審議について説明をお願ひする。」

(事務局五十嵐職員が資料4に基づき説明)

ヒリストバ部会長「ここままで何か質問はあるか。(なし)では、議事に入る。事務局から資料の説明をお願ひする。」

(五十嵐職員が資料4-1に基づき説明)

ヒリストバ部会長「何か質問はあるか。(なし)では、提言の項目について審議したい。引き続き、事務局から説明をお願ひする。」

(事務局五十嵐職員が資料4-1、4-3~4-5に基づき説明)

ヒリストバ部会長「何か質問はあるか。(なし)何か意見はあるか。」

楊委員「情報は1つのセットにして渡した方がよいと思う。あとは、私も日本語と併記するのがよいと思う。あまり細かい情報は載せずに、あくまでも情報の入り口のようなかたちでコンパクトにまとめるのがよいと思う。」

ドウマヤス委員「作成したものを川崎市のウェブサイトに掲載する予定があるか知りたい。」

事務局五十嵐職員「ウェブサイトに掲載するかは何をつくるかによる。載せて欲しいということであれば、背景・理由の中で活用方法として要望することはできる。」

マイ委員「渡す資料には細かい情報はなくてもよくて、QRコードを載せて、そこから詳しい情報に飛べればよい。」

ムハマド委員「多言語ツールについてだが、まずは事務局が日本語版をつくって、それを代表者が翻訳するという認識でよいか。」

ヒリストバ部会長「私たちが議論したものを事務局に日本語版としてつくってもらおう。」

事務局五十嵐職員「担当課にも確認して、よい情報があればそれも載せたい。」

楊委員「スケジュールについてだが、内容が確定するのは12月の会議の時という理解でよいか。」

事務局五十嵐職員「12月の会議の時というよりも、12月の会議を踏まえてということになると思う。」

ヒリストバ部会長「これ以上質問がなければ、とりあえずつくるかどうかから決めていきたい。（異議なし）それでは、代表者会議として項目1の多言語ツールをつくることに賛成の人は手を挙げてください。（6人）では、つくることに決定した。では、次に載せたい情報を1つずつ確認したい。まず、ヘルパー派遣事業について賛成の人は手を挙げてください。（6人）次に、産後ケア事業について賛成の人は手を挙げてください。（6人）次に、両親学級について賛成の人は手を挙げてください。（3人）両親学級は載せないという人は手を挙げてください。（4人）では、載せる情報はヘルパー派遣事業と産後ケア事業の2つに決まった。次に、項目2の市に多言語化して欲しいものについて審議したい。」

楊委員「質問だが、翻訳されたものは子育てガイドブックや市のウェブサイトに掲載されやすくなったりするか。」

事務局五十嵐職員「情報量を考えると、ウェブサイトには載るかもしれないが、子育てガイドブックに載せるのは難しいと思う。」

ヒリストバ部会長「では、次に項目2の市に対して求める取組について確認していきたい。まず、市にも取組を進めて欲しいという人は手を挙げてください。（7人）では、ヘルパー派遣事業に関する情報の多言語化をして欲しいという人は手を挙げてください。（0人）ヘルパー派遣事業についてはいらないという人は手を挙げてください。（1人）ヘルパー派遣事業に関する情報の〈やさしい日本語〉化を進めて欲しいという人は手を挙げてください。（6人）次に、産後ケア事業に関する情報の多言語化を進めて欲しいという人は手を挙げてください。（0人）産後ケア事業についてはいらないという人は手を挙げてください。（2人）産後ケア事業に関する情報の〈やさしい日本語〉化を進めて欲しいという人は手を挙げてください。（5人）次に、両親学級に関する情報の多言語化をして欲しいという人は手を挙げてください。（0人）両親学級についてはいらないという人は手を挙げてください。（0人）両親学級に関する情報の〈やさしい日本語〉化を進めて欲しいという人は手を挙げてください。（6人）最後に、その他で何かある人はいるか。（なし）では、ヘルパー派遣事業、産後ケア事業、両親学級の3つについて、〈やさしい日本語〉化を進めることを市に要望することで決まった。ここままで何かあるか。（なし）それでは、提言（案）について事務局から説明をお願いします。」

(事務局五十嵐職員が資料4-2に基づき説明)

ヒリストバ部会長「何か質問はあるか。(なし)私からいくつかがよいか。

多言語ツールという外国語というイメージになるので、日本語との併記ということが伝わりにくいと感じた。それと、ミスマッチという表現について、最終的にはもう少し具体的に説明できるとよいと感じた。あとは、外国人市民に伝わるということが大事というだけでなく、必要な人に必要なタイミングでということも入れたい。」

楊委員「産前・産後という表現と産後支援制度という表現があり、違和感がある。

ヘルパー派遣事業は産前も含むが、産後ケアは産後だけなので、このあたりの表現を工夫した方がよいと思う。」

ヒリストバ部会長「テーマの部分は産前・産後で、項目1では具体的な事業名を入れたらどうか。」

ムハマド委員「項目2も産前・産後がよいのではないか。」

ヒリストバ部会長「では、項目1については事業名を入れるということで賛成の人は手を挙げてください。(7人)次に、項目2については事業名ではなく、産前・産後とすることに賛成の人は手を挙げてください。(7人)項目3について何か意見はあるか。(なし)」

事務局五十嵐職員「項目2が多言語化から〈やさしい日本語〉になったので、テーマにも〈やさしい日本語〉を追加しようと思うがそれでよいか。(異議なし)」

ヒリストバ部会長「背景・理由の部分では何かあるか。」

楊委員「母国ではなければなおさら不安感は強くなるという部分だが、その理由として親族や周りのサポートが得られないということがあるとよい。」

ヒリストバ部会長「文化の違いという部分で、何か具体例を挙げられるとよいかもしれない。」

事務局五十嵐職員「具体例があれば挙げていただきたい。」

楊委員「たとえば、私は母乳かミルクかというのを文化の違いとして感じた。」

劉英杰委員「言葉の壁だけではなくて、制度の違いという部分もあると思う。いくら翻訳したとしても、そもそも制度に関する理解がないと難しいと感じることが多い。」

事務局五十嵐職員「そろそろ時間なので確認させていただきたいのだが、項目2で多言語化ではなく〈やさしい日本語〉にした理由はこういったところにあるか、

意見を聞かせて欲しい。」

ドゥマヤス委員「多言語化だと言語の数も限られてしまうし、〈やさしい日本語〉の方が実現しやすいと思った。」

野田委員「私も〈やさしい日本語〉の方が翻訳よりも早く、実現性が高いので、より多くの人に情報を伝えられると思った。」

ヒリストバ部会長「ほかに何かあるか。(なし)では、事務局から次回の予定について説明をお願いします。」

事務局五十嵐職員「今回はオープン会議になる。今日いただいた意見を踏まえて、オープン会議の資料を作成したい。12月には、文章化も進めてドラフトを作成したい。12月にドラフトを確認していただき、2回は修正の機会をつくれるようにしたい。」

ヒリストバ部会長「何か質問はあるか。(なし)それでは、今日の部会はここまでする。」

#### 【情報・社会部会】

イトウ部会長「それでは、部会を始めたい。まずは、今日の部会審議について事務局から説明をお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が資料5に基づき説明)

イトウ部会長「何か質問はあるか。(なし)では、さっそく審議に入る。まずは、介護保険制度の提言(案)について、事務局から説明をお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が資料5-1に基づき説明)

イトウ部会長「何か質問はあるか。(なし)では、次に日本語学習の機会の拡充について審議したい。事務局から説明をお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が資料5-2、5-3に基づき説明)

イトウ部会長「何か質問はあるか。」

林委員「1点、確認したい。項目1の方針に基づく体制および環境の整備の推進というの、方針が策定されたらAになるということか。」

事務局高橋専門調査員「方針ができたならAということではなく、方針に基づく取組が一定の成果を得たらAになる。」

林委員「たとえば、5年以内にとこのようなことは書けるのか。」

レイバーマン委員「方針(案)の方向性は素晴らしいと思ったが、やはりその取組が知られていなければ意味がない。広報・周知に関して何か提言できないか。」

事務局高橋専門調査員「今はまだ方針（案）の具体的な中身が示せていないのでわかりづらいかもしれないが、方針（案）では情報発信の取組についてもいろいろと検討しているところだ。」

李 敏 副委員長「推進するというときに、その成果はどうやって測るのか。それと、項目1は抽象的なものに対して、項目2は具体的なので違和感がある。」

事務局高橋専門調査員「成果をどうやって測るかということだが、方針というのは方向性を示すものなので、数値目標を設定するような計画とは違う。提言がAになるかどうかということでは、担当部署の自己評価ということになる。これから取組を検討するものも含まれているので、なかなか何年で成果を出すということは難しい。」

イトウ 部長「では、方針に基づく体制および環境の整備というのは、どうなればAになるか。」

事務局高橋専門調査員「体制という言葉が使われていることがポイントだ。つまり、さまざま取組がバラバラに進むということではなく、何らかのシステム、仕組みとして安定して取り組めるようになることが評価の基準になるかと思う。」

ペレーラ 委員長「項目2の外国人市民の日本語学習に関するニーズを調査するというのはすごくよいと思うが、これも調査をしたら終わりになるのか。調査の結果はきちんと取組にフィードバックされるのか。」

事務局高橋専門調査員「当然、調査結果は方針に基づく取組を進めるためのものだ。」

レイバーマン 委員「調査は外国人市民全員が対象か。それとも一部か。」

事務局高橋専門調査員「全員が対象ということにはならない。たとえば、5年に1度の外国人市民意識実態調査では対象者はサンプリングした5,000人だ。」

劉 晨 委員「今まで審議してきた中では、オンライン教室を充実させるべきだという意見があったと思うが、たとえばこのことが11月に公表される方針（案）になかった場合には、項目として追加することはできるか。」

事務局高橋専門調査員「オンライン教室という狭い表現ではないが、ICTの活用というレベルでは、方針（案）の中でも検討している。」

李 敏 副委員長「2点ある。1点目に、ICTの活用についてだが、方針と重複するとしても提言にしてもよいと思う。方針に書いてあるから提言しないということではないと思う。2点目に、方針（案）の地域における日本語教室の部分は誰がやるのかは決まっているのではないか。」

事務局高橋専門調査員「たしかに、これまで地域における日本語教室はボランティアの人たちが担っていた。ただし、これから新たな取組が求められていく時に、それを今までどおりボランティアがやるのか、という部分はそれほど単純ではない。私がこれまで繰り返し説明しているのは、市としてICTの活用をしないということではなく、ボランティアにICTの活用を求めるのは実態から考えるとかなり厳しいということだ。」

ユデク委員「私もオンライン教室だと狭すぎると思うが、ICTの活用だったら提言にしてよいと思う。」

尹委員「「生活Cando」の取組をするというのも大事だと思う。」

事務局高橋専門調査員「残りの時間が少なくなってきたので、オープン会議の資料を作成するために、項目について決をとって決めていただきたい。項目1をICTの活用に変えるのかどうか、決めていただきたい。」

ペレーラ委員長「項目の1を残したまま、項目2としてICTの活用を追加したらよいのではないか。」

レイバーマン委員「ICTだけではなく、夜間のクラスを増やすことは入れられないか。」

事務局高橋専門調査員「確認だが、一応、各区に夜間のクラスはある。」

ペレーラ委員長「先週、オープン会議の広報で宮前区に行った時に担当者から聞いたのだが、学習ニーズはあるがボランティアが不足していて、増やしたくても増やせないという実態があるそうだ。」

イトウ部会長「私も実際に行ってみて感じたのだが、学習者のレベルもさまざま、きめ細やかな対応をするためには、ボランティアの確保はそれほど簡単ではないと思った。」

林委員「さらに項目に企業、学校、団体等との連携を追加したらどうか。」

事務局高橋専門調査員「少し整理する。(ホワイトボードに選択肢を整理) A案は今のまま、B案は項目1をICTの活用に変更する。C案は項目1を協力体制に変更する。D案は項目1を残してICTの活用を追加する。E案は項目1を残して協力体制を追加する。F案は項目1を残したまま、ICTの活用と協力体制の2つを追加する。G案は項目1をやめてICTの活用と協力体制の2つを追加する。以上でよいか。(異議なし)」

イトウ部会長「それでは、決をとる。1人1回、手を挙げてください。A案に賛成の人は手を挙げてください。(1人) B案に賛成の人は手を挙げてください。」

( 0人 ) C案に賛成の人は手を挙げてください。( 0人 ) D案に賛成の人は手を挙げてください。( 4人 ) E案に賛成の人は手を挙げてください。( 0人 ) F案に賛成の人は手を挙げてください。( 2人 ) G案に賛成の人は手を挙げてください。( 1人 ) では、D案の項目1を残してICTの活用を追加するに決まった。次回の予定について、事務局から説明をお願いする。」

事務局高橋専門調査員「オープン会議には今日の審議で決まったことを整理して資料を作成する。12月の会議では、オープン会議で出た意見を踏まえて、また審議していただければと思う。」

イトウ部会長「何か質問はあるか。( なし ) それでは、今日の部会審議はここのでとする。」

#### 【全体会】

ペレーラ委員長「それでは、全体会を再開する。まずは、部会報告だ。情報・社会部会から報告をお願いする。」

イトウ部会長「情報・社会部会では、まずは介護保険制度の提言案について、前回の意見の反映状況を確認した。そのあと、日本語学習の機会の拡充について審議した。主な意見としては、連携や協力体制をくわえるという意見やオンライン教室など具体的な表現をくわえるという意見が出た。最終的には、ICTの活用をくわえることにした。次回は、オープン会議でいただいた意見を踏まえて、さらに掘り下げて審議していきたい。」

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。( なし ) では、次に安心生活部会の報告をお願いする。」

ヒリストバ部会長「今日は、産後支援制度の提言案について審議した。テーマは、外国人市民が安心して産前・産後の期間を過ごせるように、多言語や〈やさしい日本語〉による支援の充実を図る、というふうになった。項目1では、ヘルパー派遣事業と産後ケア事業に関する多言語ツールをつくることにした。項目2では、産前・産後支援に関する〈やさしい日本語〉化を推進するということにした。項目3はそのままで。」

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。」

李歡歡副委員長「項目1で多言語ツールをつくるとのことだが、具体的に何語でつくるかは決まったか。それともまだか。」

ヒリスとバ部会長「まだそこまでは決まっていない。」

ペレーラ委員長「ほかに何かあるか。（なし）では、次は実行委員会報告だ。まずは、交流イベント実行委員会の報告をお願いします。」

ムハマド委員「4点報告がある。1点目に、まだ写真を提出していない人は、写真の提出をお願いします。2点目に、お菓子を持ってこられる人は、私までお願いします。3点目に、まだ参加人数が少ないので、できれば日程調整をして参加をお願いします。4点目に、国旗描きの準備に協力をお願いします。」

ペレーラ委員長「今日の議事は以上だ。事務局から事務連絡をお願いします。」

### 事務連絡

- ・オープン会議の広報について
- ・LOVEかわさきの放送について
- ・市民祭りの準備について

ペレーラ委員長「これで、今日の日程はすべて終了だ。次回は、11月19日、日曜日、ここ中原市民館でオープン会議だ。これで2023年度第3回第1日の会議を終わりにする。」